

学校だより



読書の秋 ～読み聞かせのすすめ～

朝夕の冷え込みに、校庭や校舎の周りの木々も色を変え、美しく紅葉してきました。「実りの秋」「食欲の秋」「スポーツの秋」等、秋を特徴づける言葉は沢山ありますが、活字離れが心配されている今日、心も豊かに「読書の秋」に浸ってみてはいかがでしょうか。

自分が興味のある本を読むことも素晴らしいことですが、お子様への絵本の「読み聞かせ」は、とても良いとされています。「読み聞かせ」は、子どもの心を育て、創造力を豊かにしてくれます。自分のために本を読んでくれて、一緒に笑ったり感動したり、そんな保護者の気持ちこそ子どもには一番うれしい贈り物です。

絵本を読んでもらっている間、子どもはお話を楽しんでいるだけでなく、保護者の愛情を確認しているのです。自分が保護者を独占していることがうれしいのです。自分たちの大好きだった本を読んであげましょう。きっと、お子様のお気に入りの絵本が見つかります。読むのがうまくなくてもよいのです。絵本の読み聞かせをすることで、自然と子どもと心を通わせやすくなると思います。読み聞かせの意味の大半はここにあります。絵本は、子どもとのコミュニケーションの手助けにぴったりなのです。「読み聞かせ」をするのだと構えなくても、絵本を使って楽しいひとときを共有することから始めてみてください。

本校の課題である「読書量の不足」を、保護者の皆様と一緒に克服していきたいと思えます。お子様と一緒に読み、感想を交換し合ってもよいですね。感動体験を共有して、心の交流につなげていただきたいと思います。



今月の生活の目標 「何事も最後までがんばる」

めあてをもち、取り組んでいく途中では、失敗することやくじけることに必ず出会います。順風満帆で物事が進むことはほとんどありません。だから、失敗しても新たな方法を見つけ、くじけそうになってもふんばって立ち直り、めあてに向かって再び取り組み続けることが大事になってきます。そして、それを何度も繰り返すことが、本校の校訓でもある『たゆまない努力』と言えます。

『たゆまない努力』を積み重ね、めあてを達成するまで取り組み続けることが、『最後までがんばる』ことになります。

11月17日(土)は、学芸会です。学芸会では、それぞれの学年が、めあてをもち、練習を積み重ねながら当日を迎える予定です。

私たちは、学芸会という大きな行事を通して、子どもたちに校訓を実感させたいと思っています。そのために私たちは、子ども自らめあてをもって取り組んでいくことができるように指導や支援の方法を考え、実践しています。自分でもっためあてを達成できた時の充実感は、これから子どもたちが夢に向かって進んでいく時に、『たゆまない努力』ができる資質につながると考えます。



【 学校公開への多数のご参加ありがとうございました 】

11月1日の「おかやま教育の日」を前に、学校の教育活動を公開する「あさくち教育週間2018」に合わせ、本校では、10月22日(月)～10月26日(金)に学校公開を行いました。5日間で、延べ300人以上の保護者や地域の皆様方に来校していただき、子どもたちの活動や教員の指導の様子、掲示物や施設・設備などの教育環境を見ていただきました。心よりお礼を申し上げます。また、良い点や改善点を教えてくださいました方もいて、大変ありがたかったです。

開かれた学校として、教育週間以外でも学校は公開していますので、お気軽にいつでも来校していただければと思います。お待ちしております。

